

2020 年度事業報告

【放射能測定事業】

2020 年度は海水や河川水など「水」に含まれるトリチウムの測定精度を上げるため、電解濃縮装置を導入しました。環境中のトリチウム濃度は、0.2～0.5Bq/L 前後とされています。たらちねの従来の分析法では、検出下限値が 2.0Bq/L 前後のため、ほとんどの試料が検出下限値以下となっていました。電解濃縮装置を導入し、試料水を濃縮して測定することで、検出下限値を 0.14Bq/L 程度まで下げることができました。測定技術の精度を高めていくことで、目に見えない放射能を可視化し、より詳細な情報を残していくことができるようになりました。

処理汚染水の海洋放出が正式決定された中、これまで以上に市民目線での詳細なデータを残す重要性を感じています。福島第一原子力発電所付近の海流は、季節によって北に南に、沿岸部に沿って流れることが分かり、海洋調査に加えて沿岸部の測定も積極的に行いました。

そのほか、スーパーや道の駅で購入した市販品やセシウムを吸収しやすい食材であるきのこ類や山菜類の重点調査、子どもの遊び場である公園や海水浴場、小中学校のグラウンド調査も行いました。原発事故から 10 年経った今でも、子どもたちが生活する環境内で高い値が検出されることは少なくありません。また、今までずっと不検出だった食材が検出されたりすることもあり、社会の中での関心が薄れていく中で、放射性物質の存在は今も至るところにその影を潜ませています。

処理汚染水の海洋放出をはじめ、双葉郡への帰還の促進など福島の様子は刻一刻と変化し続けています。その中で、変わらず測り続け、データを残していくことが重要だと考えています。

○2020 年度測定件数 ガンマ線・ベータ線 合計 1,886 件

NaI シンチレーション測定器
(ガンマ線)

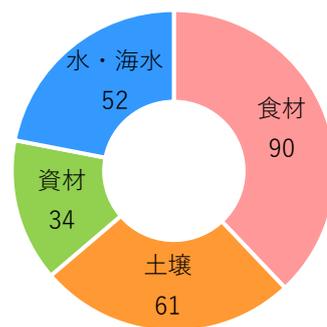
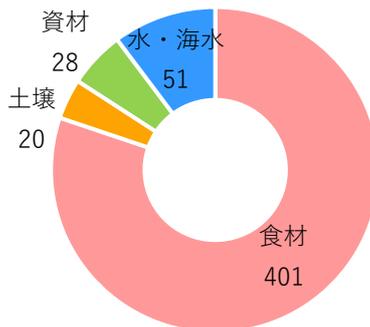
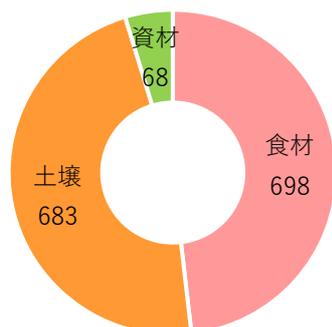
総測定件数：1,449 件

ゲルマニウム半導体測定器
(ガンマ線)

総測定件数：500 件

液体シンチレーションカウンター
(ベータ線)

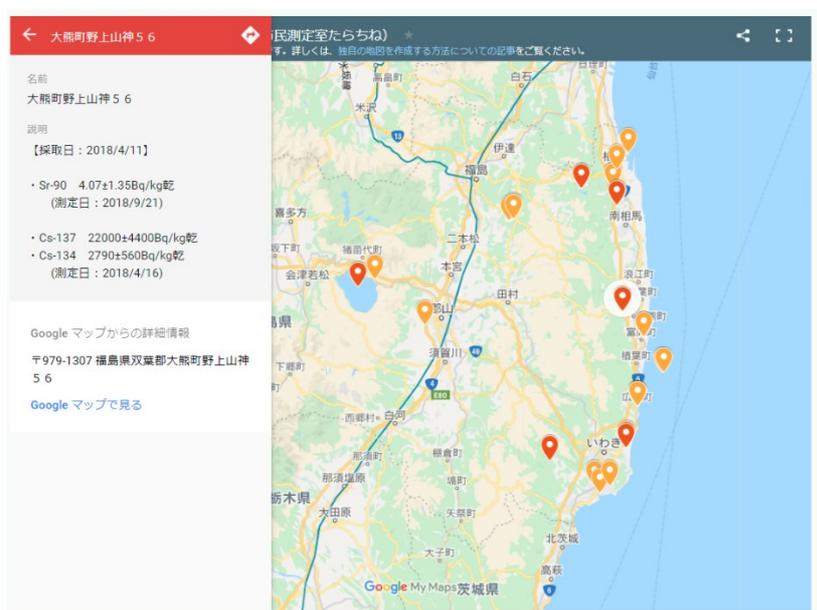
総測定件数：237 件



子どもたちの身近な環境である公園の測定を行い、セシウムの汚染マップをホームページで随時公開してきました。

2020年度は、これまで測定した様々な場所の土壌のストロンチウム90の結果をマップ化し、ホームページでの公開を始めました。地図上のピンをクリックすると、たちねで測定した土壌のストロンチウム90の値や測定日など詳細なデータを見ることができます。今後も随時データを公開していく予定です。

居住近隣エリアや子どもたちの活動場などの汚染状況を目で見て確認できることはとても大切です。放射能汚染下で生活する地域の皆さんにとって必要な情報を引き続き提供していきたいと思えます。



※ピンの種類

 検出されたもの

 検出下限値以下だったもの

○トリチウム電解濃縮装置の導入

電解濃縮装置はクラウドファンディングで機器購入の寄付を呼び掛け、150名の方からのご支援のもと、購入することができました。

2020年12月の設置からテスト測定を重ねて行い、クロスチェックの結果からきちんとした数値を出せることが確認できました。(2021年4月より一般測定依頼の受付開始)



トリピュア(TRIPURE)トリチウム電解濃縮装置



自由水型トリチウム 前処理作業の一部

○海洋調査結果(沖合)

いわき市漁業協同組合、ボランティアさんの協力を得て、2020年度は6月と11月の2回実施しました。各回の結果はホームページに掲載しています。

【海水採取地点】



第15回 6月17日

福島第一原子力発電所 1.5km 沖・富岡港

第21回 11月12日

福島第一原子力発電所沖・富岡港

測定結果の単位： Bq/L

第21回海洋調査 海水測定結果		セシウム137		セシウム134		ストロンチウム90	
		測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値
福島第一原発 1.5km沖	A地点 表層	0.008 ± 0.0006	0.0009	ND	0.001	0.0016 ± 0.0005	0.0006
	A地点 下層	0.012 ± 0.0006	0.001	ND	0.001	0.0013 ± 0.0005	0.0007
	B地点 表層	0.002 ± 0.0005	0.001	ND	0.001	0.0012 ± 0.0006	0.0008
	B地点 下層	0.003 ± 0.0005	0.001	ND	0.001	0.0008 ± 0.0004	0.0006
	C地点 表層	0.002 ± 0.0005	0.001	ND	0.001	0.0015 ± 0.0005	0.0008
	C地点 下層	0.063 ± 0.001	0.001	0.002 ± 0.0004	0.001	0.0007 ± 0.0004	0.0006

測定結果の単位： セシウム Bq/kg 生、トリチウム・ストロンチウム 90→Bq/kg 乾

魚 測定結果	セシウム137		セシウム134		トリチウム		ストロンチウム90	
	測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値	測定結果	検出下限値
キツネメバルNo.1	9.2 ± 0.2	0.2	0.5 ± 0.1	0.2	ND	1.17	測定中	
ブリNo.3	0.5 ± 0.08	0.1	ND	0.1	ND	1.10	測定中	
ヒラメNo.4	1.9 ± 0.1	0.1	ND	0.1	ND	1.04	測定中	
ヒラメNo.5	1.2 ± 0.1	0.1	ND	0.1	—	—	—	
ヒラメNo.6	1.1 ± 0.1	0.1	ND	0.2	—	—	—	
シロメバルNo.7	2.2 ± 0.1	0.2	ND	0.2	—	—	測定中	
アイナメNo.14	4.5 ± 0.1	0.2	0.3 ± 0.1	0.2	—	—	測定中	
キツネメバルNo.15	3.2 ± 0.1	0.4	ND	0.5	—	—	—	

※ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。



○海洋調査(沿岸)

【海水採取地点】



- 2020年4月6日 相馬港・富岡港
- 2020年7月15日 小名浜港・小浜港・平潟港
- 2020年8月20日 小名浜港
- 2020年8月25日 富岡港
- 2020年9月17日 相馬港
- 2021年3月1日 富岡港・請戸港



測定結果の単位 Bq/L

採取場所	相馬港		
	表層	表層	下層
採取日	2020/4/6	2020/9/17	
セシウム137	0.004 ± 0.0005	0.007 ± 0.0004	0.013 ± 0.0007
セシウム134	ND(<0.001)	ND(<0.001)	0.001 ± 0.0005
ストロンチウム90	0.0011 ± 0.0004	0.0007 ± 0.0004	0.0014 ± 0.0005

測定結果の単位 Bq/L

採取場所	富岡港		
	表層	表層	下層
採取日	2020/4/6	2020/6/17	
セシウム137	0.0019 ± 0.0007	0.012 ± 0.0006	0.095 ± 0.001
セシウム134	0.001 ± 0.0005	ND(<0.001)	0.005 ± 0.0006
ストロンチウム90	0.0017 ± 0.0005	0.0011 ± 0.0005	0.0012 ± 0.0004

測定結果の単位 Bq/L

採取場所	小名浜港			小浜港	平潟港
	表層	表層	下層	表層	表層
採取日	2020/7/15	2020/8/20		2020/7/15	2020/7/15
セシウム137	0.005 ± 0.0005	0.010 ± 0.0007	0.016 ± 0.0007	0.005 ± 0.0005	0.005 ± 0.0005
セシウム134	ND(<0.001)	ND(<0.001)	ND(<0.001)	ND(<0.001)	ND(<0.001)
ストロンチウム90	ND(<0.0007)	0.0008 ± 0.0004	0.0009 ± 0.0004	0.0012 ± 0.0004	0.0013 ± 0.0007

※ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。

○内水面環境調査(猪苗代湖)

内水面は海のように放射性物質が広がらないことから、汚染が残りに残る可能性があります。福島県内外の淡水魚は、生物としての特徴や残っている汚染による影響から、今でも多くの種類や場所での出荷制限がかかったままです。2020年度は初めて内水面の調査を行いました。海洋調査と同様に表層と下層の水の他、不攪乱柱状採泥器を使って湖心底の泥を採取し、深さ別に測定しました。

【湖水・底泥採取地点】



2020年10月8日 猪苗代湖(福島県)

測定結果の単位 Bq/L

採取場所	猪苗代湖	
	表層	下層
セシウム137	0.0041 ± 0.0005	0.0308 ± 0.0008
セシウム134	ND(<0.001)	ND(<0.001)
ストロンチウム90	ND(<0.0006)	ND(<0.0006)

測定結果の単位 Bq/kg 乾

採取場所	猪苗代湖 湖心底泥							
	0-5cm	5-10cm	10-15cm	15-20cm	20-25cm	25-30cm	30cm以下	最下
セシウム137	440 ± 7.6	10.2 ± 0.3	24.5 ± 0.6	28.3 ± 0.6	4.6 ± 0.6	1.4 ± 0.4	ND(<1.0)	0.9 ± 0.3
セシウム134	18.7 ± 2.0	ND(<0.5)	ND(<0.7)	ND(<0.6)	ND(<1.1)	ND(<0.9)	ND(<1.0)	ND(<0.8)
ストロンチウム90	ND(<1.60)	—	3.13 ± 1.22	—	ND(<2.29)	—	1.82 ± 1.04	—

※ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。



不攪乱柱状採泥器

【甲状腺検診事業】

新型コロナウイルス感染拡大による「緊急事態宣言」の発令により、出張甲状腺検診は4月～6月まで中止となりました。これまで検診にご協力頂いていた先生方も日本各地に在住されていることから、感染リスクを考慮し、往來を控えて頂いています。7月から出張検診を再開しましたが、三密にならないよう予約時間の調整や消毒・検温を徹底した上で実施しました。

感染拡大に伴い、福島県は原発事故当時18歳以下だった子どもを対象に実施している甲状腺検査(2020年度1学期分)を一部見合わせることを発表しました。これにより検査時期の延期や中止など、検診を受ける機会が減ってしまっている子どもたちがいます。

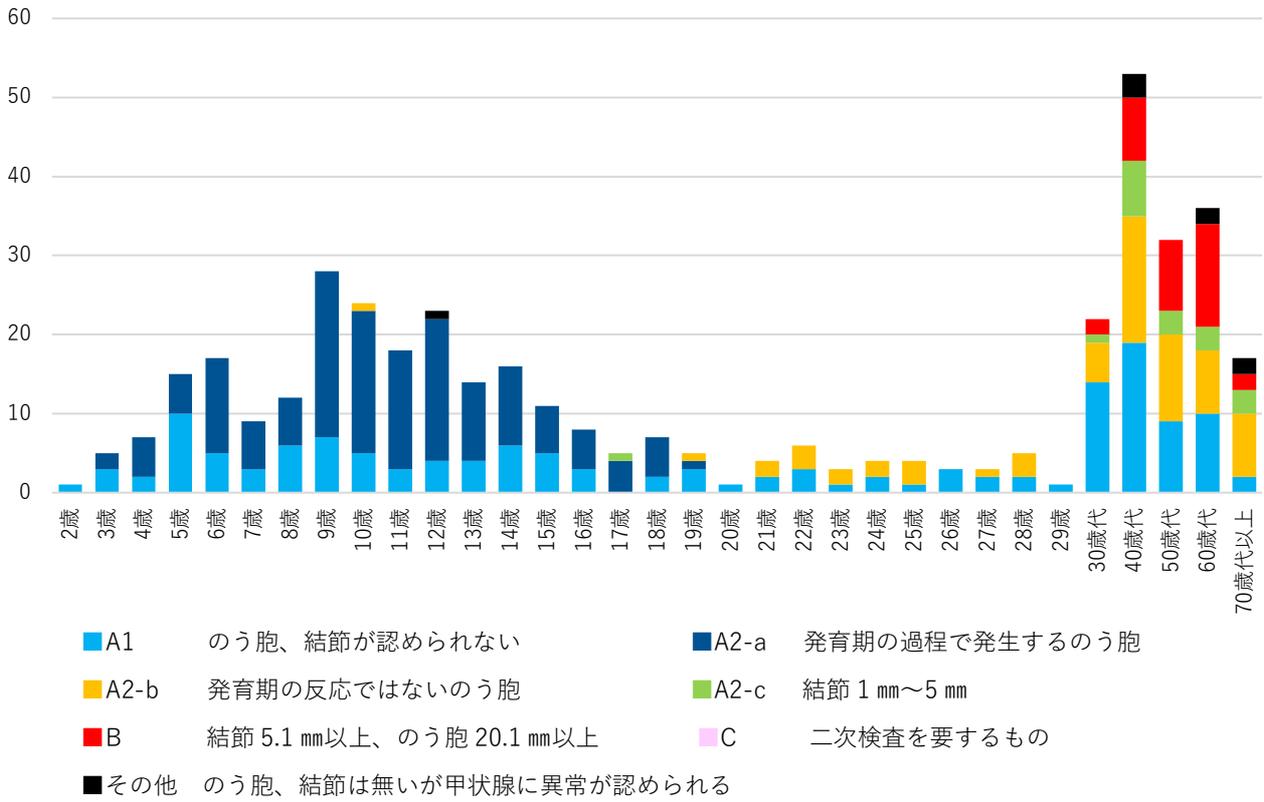
原発事故から10年が経ち、当時幼かった子どもたちの中には母親・父親になっている人も少なくありません。地域で生活する皆さんの不安な声に寄り添い、今後も継続的な検診と見守りを続けて行きたいと思います。

○2020年度検診実施一覧

日付	会場	地域	担当医師		受診者数
2020年4月5日	飯館村交流センター	福島県相馬郡	藤田先生		6
4月19日	郡山安積総合学習センター	福島県郡山市	須田先生	中止	
5月23日	いわき市好間公民館	福島県いわき市	野宗先生	中止	
5月24日	伊達市保原中央交流館	福島県伊達市	藤田先生	中止	
6月7日	須賀川市東公民館	福島県須賀川市	藤田先生	中止	
6月21日	三春町岩江センター	福島県田村郡	須田先生	中止	
7月5日	宮城県白石市中央公民館	宮城県白石市	藤田先生		44
7月12日	宮城県角田市民センター	宮城県角田市	藤田先生	中止	
8月2日	須賀川市東公民館	福島県須賀川市	藤田先生		31
8月23日	郡山安積総合学習センター	福島県郡山市	藤田先生		31
9月6日	山形県米沢市たけのこ保育園	山形県米沢市	藤田先生		9
9月12日	田村市まちこちゃんの店	福島県田村市	藤田先生		18
9月27日	宮城県白石市中央公民館	宮城県白石市	藤田先生		24
10月11日	たらちねクリニック	福島県いわき市	藤田先生		46
10月25日	福島市チェンバおおまち	福島県福島市	藤田先生		35
11月22日	パルシステム東京 東新宿本部	東京都新宿区	藤田先生		48
11月23日	パルシステム東京 三鷹市	東京都三鷹市	藤田先生		62
12月6日	伊達市保原中央交流館	福島県伊達市	藤田先生		35
2021年1月11日	サンライフ南相馬	福島県南相馬市	藤田先生		27
3月28日	双葉郡広野町公民館	福島県双葉郡	藤田先生		3
合計	14回				419人



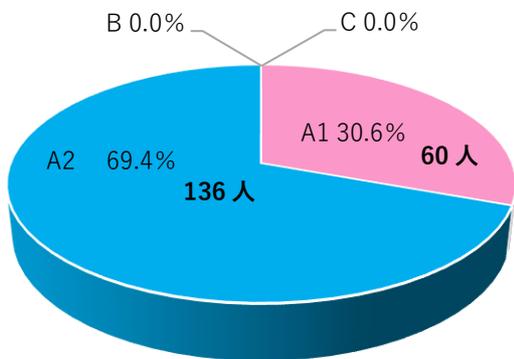
○年齢別検診結果 受検者年齢2歳～70歳以上 合計419人



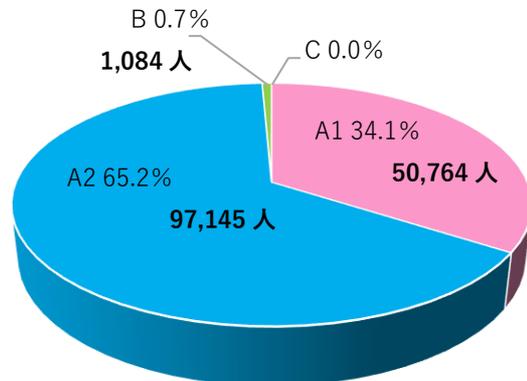
○福島県健康診査との比較図

検診対象者 1992年4月2日～2012年4月1日生まれ

たらちね甲状腺検診 196人



福島県民健康調査 148,993人



【クリニック事業】

この1年は、新型コロナウイルス感染の流行で、体調が悪くてもなかなか医療機関を受診できないといったケースが日常茶飯でした。苦しい思いをしている子どもたちを、すぐに気軽に診ていけるように、迅速抗原検査キットを導入し、発熱診察室を作りました。また、消毒や検温の徹底や感染防止シールドの設置、フェイスシールドや手袋、マスクの診療ごとの交換など、患者さんやスタッフの感染リスクを最大限に少なくする努力をしました。

原発事故から丸10年が経ち、当時幼かった子どもたちが成人となり、検診を受けに来ることもありました。彼らの中には父親・母親になっている人たちもおり、原発事故当時の子どもたちから今の子どもたちまで、幅広い年齢層に対する健康の見守りの必要性を感じています。

たらちね子どもドックはこれまで「18歳以下の子どもたち」を対象に、無料で提供をしていましたが、時間の経過とともに検診対象とすべき年齢層も変化してきていることから、2021年3月から子どもドックの対象を「原発事故当時18歳以下だった方」に広げました。

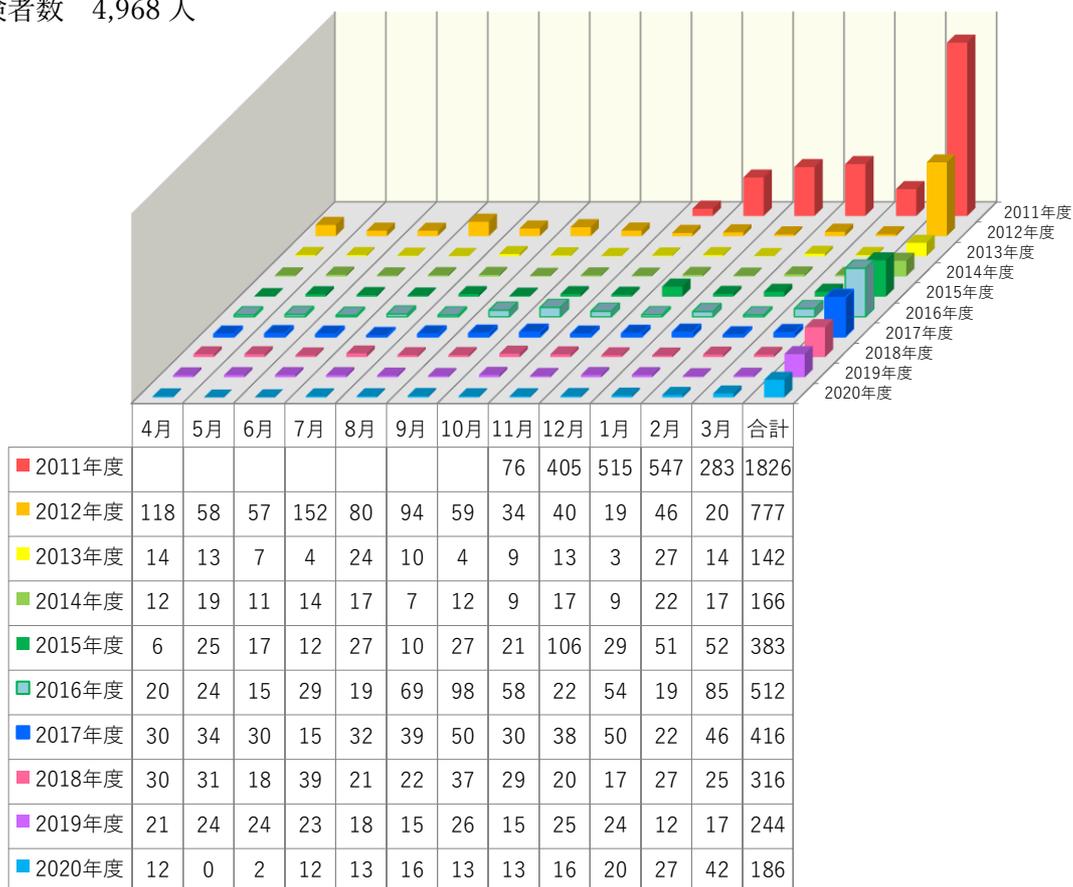
また、相双地区への帰還や雇用の促進が進む中で、双葉郡に居住している方や就労されている方を対象に無料健康診断を実施しました。

原発事故の収束までの道のりは私たちが想像する以上に長く困難なものになることが予想されます。

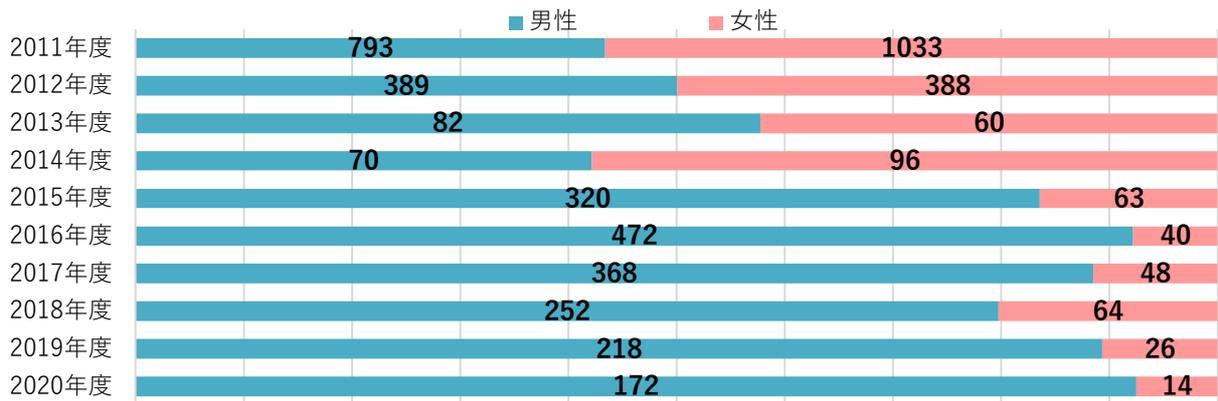
何世代にも渡って抱え続けていく問題だからこそ、健康の見守りの体制を作っていくことが未来への灯になっていくと思います。

○ホールボディーカウンター受検者数

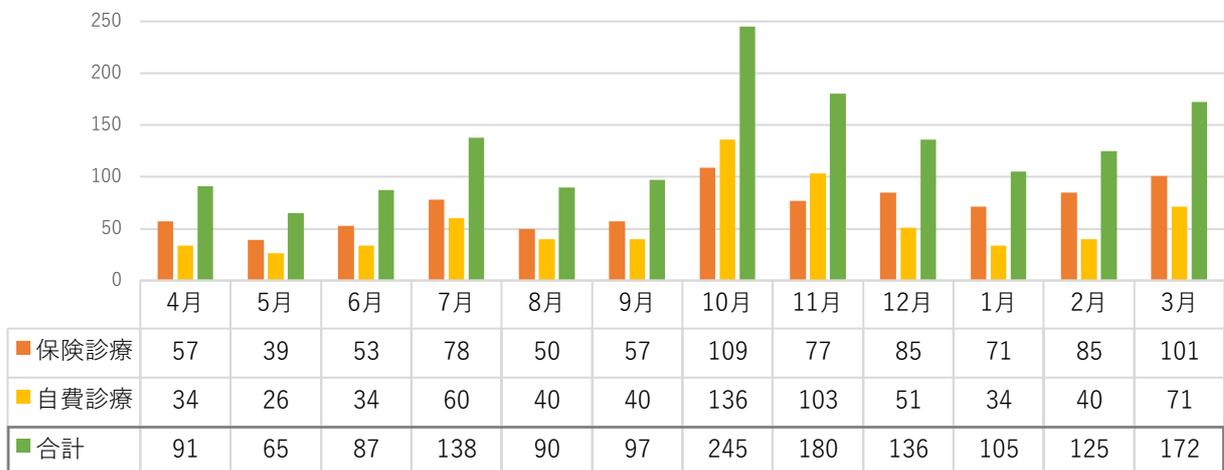
総受検者数 4,968人



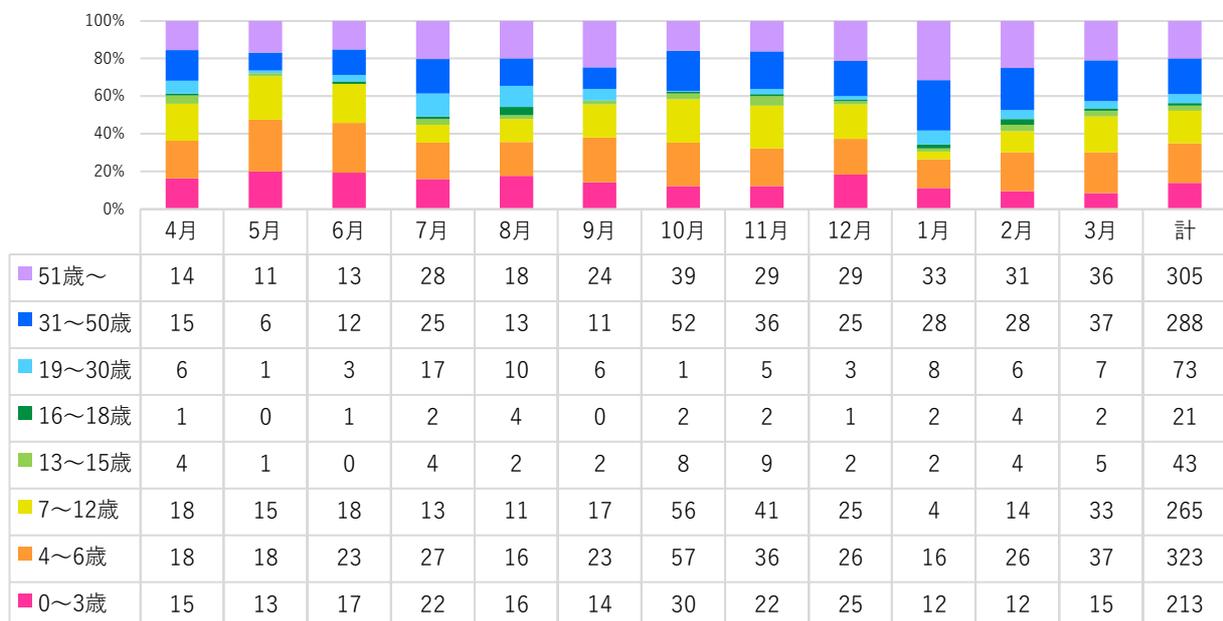
○ホールボディーカウンター受検者内訳



○患者利用数



○年齢別・月別患者数の割合



○こどもドックメニュー

検査項目 ※希望する項目のみを受けることもできます	自己負担で検診を受ける場合	全国の皆さまからのご支援を受けて検診を受ける場合
診察 ・内科診察 		
甲状腺超音波(エコー)検査 ・のう胞や結節などの有無を調べます 	3,500円	無料
ホールボディーカウンター(WBC) ・全身の放射能測定(5-15分間)	無料	無料
尿中セシウム測定 ・自宅で2ℓの蓄尿が必要です 	4,000円	無料
身体計測・生理学的検査 ・身長 ・体重 ・視力 ・聴力 ・血圧	5,260円	無料
血液検査 ・末梢血液一般 ・FT4 ・CRP ・ALT ・カルシウム ・クレアチニン ・ナトリウム及びクロール ・CK ・LD ・Tcho ・HDL-Ch ・中性脂肪 ・末梢血液像 ・TSH ・AST ・血糖 ・ヘモグロビンA1c ・BUN ・UA ・カリウム ・BIL/総 ・γ-GT ・ALP		
尿一般検査 ・比重、PH、蛋白、糖、ウロビリノーゲン、潜血		
心電図	1,300円	無料
合計	14,060円	無料

※採血などの検査を怖がるお子さんには、実施できない場合もあることをご了承ください。

※肺呼吸機能検査も受けることができます。

※こころのケア(看護師/スタッフとの相談)も受け付けております。

一般的な血液検査は**肝臓、腎臓、貧血、炎症反応**などを調べます。

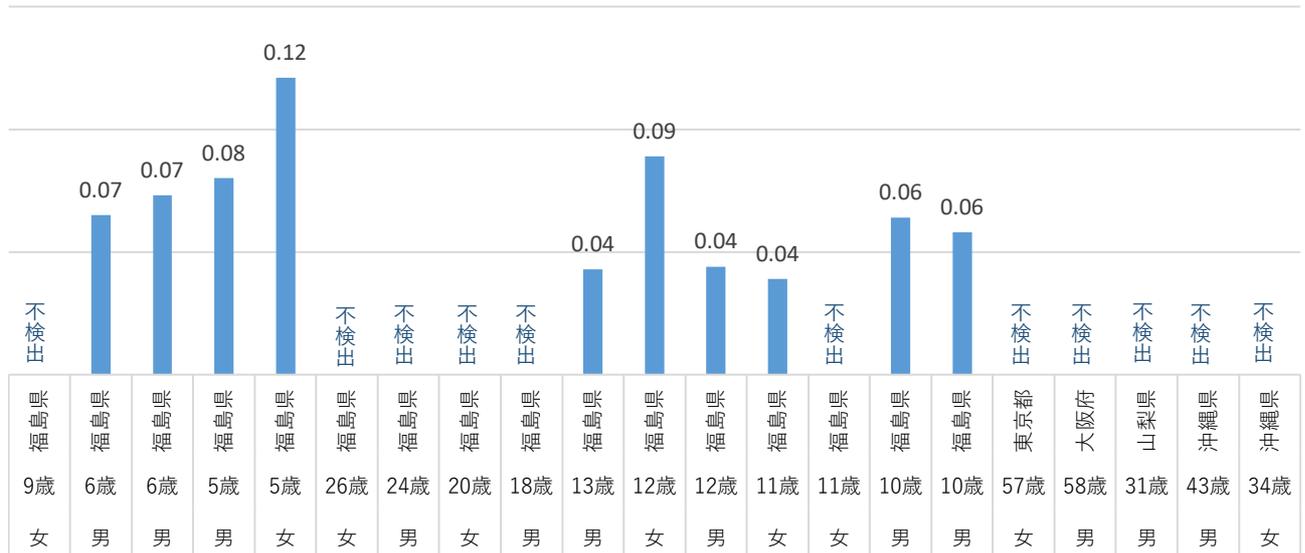
たらちねクリニックの血液検査は上記の項目に加えて**甲状腺ホルモン**なども調べます。



○尿中セシウム測定結果

採尿時期：2020年4月～2021年3月

Bq/kg(セシウム 137+134)



○無料健康診断の案内

※無料健康診断は特定非営利活動法人ジャパンプラットフォームの「福島第一原発事故災害による被ばくから、いのちと地域を守る事業」による支援でまかなわれています

たらちねクリニック
無料健康診断のご案内

こちらのご検診は特定非営利活動法人ジャパンプラットフォームの「福島第一原発事故災害による被ばくから、いのちと地域を守る事業」による支援でまかなわれております

詳細は裏面をご覧ください

下記の項目を無料で受けられます！
 希望の項目のみを受けることもできます

🌸 対象者：双葉郡やその近隣でお仕事をされている方
 双葉郡に現在居住している方、及び居住していた方

🌟 対象年齢：19歳以上

🌸 実施期間：2021年1月～12月（予約制）

ご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください

検査項目		参考料金
診療	内科診療	
甲状腺超音波(エコー)検査	のう胞や結節などの有無を調べます	3,500円
ホールボディカウンター(WBC)	全身の放射能測定(5-15分間)	1,000円
尿中セシウム測定	自宅で2ℓの蓄尿が必要です クリニックで専用のキットをお渡しします	4,000円
身体計測・生理学的検査	身長、体重、視力、聴力、血圧	
血液検査	一般的な血液検査項目 (肝臓、腎臓、貧血、炎症反応) などに加えて 甲状腺ホルモンも調べます	5,260円
尿一般検査	比重、PH、蛋白、糖 ウロビリノーゲン、潜血	
胸部レントゲン		2,100円
心電図		1,300円

たらちねクリニック
 Mothers' Radiation Lab & Clinic Fukushima

〒971-8162 いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階
 認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね 併設
 TEL 0246-38-8031 FAX 0246-38-8322
 メール toiawase@tarachineiwaki.org



○クリニック利用者の声

- ・震災当時 16 歳だった私も、震災後に生まれた子どもたちも無料で健診を受けられて、とても安心しました。ありがとうございます。(20 代女性)
- ・娘が今年 20 歳になりましたが、甲状腺検診以外の検査も無料で受けられると知り、とてもありがたいと思います。(40 代女性)
- ・社会人になりましたが、これからもたらちねドックを続けていきたいです。(20 代男性)
- ・たらちね先生は優しいから、注射も怖くないよ！！大きくなったら、お医者さんになって、たらちね先生と一緒に働きたいな！（5 歳男児）
- ・両親が仕事で、1 人で受診しました。体調が悪くて不安でしたが、迎えが来るまでベッドで休ませてくれたり、スタッフの方々が優しく様子を見に来てくれて嬉しかったです。(10 代女性)
- ・じっくり話を聞いてくれました。最後までこちらの話を聞いてくれたので、とても信頼できました。(50 代女性)
- ・他の病院でもらっていた薬は、よくわからず飲んでいたが、たらちねの院長先生や看護師さんは、わかるまで何回も教えてくれて、世間話もできて、今では月に 1 回の通院が楽しみになりました。(80 代男性)

【保養事業】

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、沖縄・球美の里・子ども保養プロジェクトとオルト・デイ・ソーニのイタリア転地保養プログラムの 2021 年度の受け入れは見送りとなりました。

終息の目途が立たない状況ではありますが、放射能汚染は今も変わらず続いていることから、これまで保養に参加していたことでできていた被曝の軽減や自然体験の機会が無くなり、子どもたちの置かれている状況は更に厳しいものになってきています。

今後の感染状況とリスクを踏まえて、できる範囲で保養を実施していきたいと思います。

また、これを機にオルト・デイ・ソーニと協働で、オンラインでの勉強会の開催を実施しました。放射能に関しての基礎知識をはじめ福島の現状などを在イタリアの大学生はじめ関係者と共有し、日本とイタリア間での意見交換を行いました。様々な問題に対して、日伊間の捉え方や考え方には違いがあり、貴重な学びの場となりました。

【あとりえ・たらちね こころのケア事業】

たらちねでは、2018年から子どもたちのこころのケアを行う事業を開始しました。子どもたちを中心に、その家族のサポートも行いながら活動しています。その活動は今年で3年目となりました。震災から10年、子どもたちにとって特に重要な存在である母親たちが、2011年3月11日の震災のことをふりかえり、言葉にできるようになったのは本当にごく最近になってからです。母親たちは、こころに深い思いや傷を背負い「今だから話せる。」ということを出すようになりました。たらちねのスタッフも同じ地域に生き、同じ被災をしています。そして、そこで同じく子育てもしています。スタッフは、あとりえ・たらちねを利用する母親たちと同じ気持ちを共有しながら、様々なケースに向き合ってきました。

10年前、母親たちは大きな不安と恐怖を抱えながら震災、原発事故を乗り越えました。その困難は子どもたちにも伝わり、成長しても潜在的な緊張が解けない子どももいます。人間が人生の中で一番安心できるはずの胎内での時期を、放射能に対する母親の恐怖により胎盤が固くなる、羊水が冷えるなどの劣悪な環境で過ごすことになりました。子どもたちは胎児のうちから防ぎようのないストレスを受けています。また、転々と移動し、長引く避難生活の苦労の中で、子どもたちの日々の様子を思い出すことができなくなった母親もいました。あとりえ・たらちねの利用者は、一般的な子育て相談や子どもの学校での友人関係など、日常的な悩みがきっかけで訪れる人が大半です。しかし、そのこころを語りにより紐解くと、東日本大震災の恐怖、特に原発事故と放射能から受けるストレスは大きなものだということがわかりました。



○子どもたちを取り巻く環境～コロナ、そして福島イノベーションコースト構想

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大が大きな不安材料でした。小さな子どもたちまでマスクをし、眉を寄せて生活し始めて1年が経ちました。運動量の多い子どもたちが、マスクをしている様子は、見ているだけでも心が痛みます。息苦しくないだろうか？十分に深呼吸できているのだろうか？そんな心配がつきまといまいます。

また、福島県の子どもたちには、別の問題が重くのしかかっています。原発の廃炉を担う人材育成のターゲットとして教育されていることです。ふるさとへの強い愛着を促進させる教育をはじめ、廃炉を産業と位置づけ、子どもたちがそこに向かっていくように組まれたカリキュラムは小学生のうちから開始されています。「まさか我が子が！」親たちは、子どもたちに少しでもより良い教育を受けさせたいと望みますが、そういう気持ちを利用した社会的構造がつけられています。

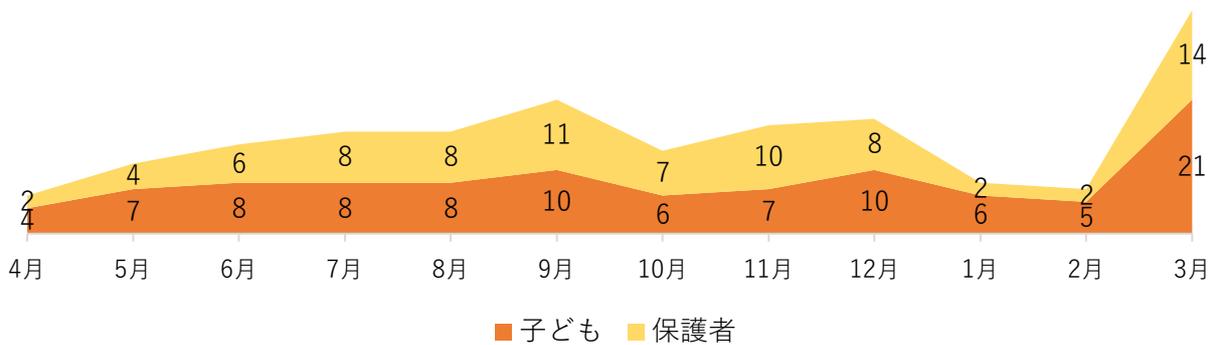
人間にとっていろんな形で科学を身近に置いて思考し生活することは大事なことです。しかし、福島の子どもたちは、大人のしでかした失敗の後始末のために科学に触れることを強制されています。この動機について大人から正しく説明を受けることもなく、「産業」や「ふるさと愛」というすり替え

の中で、子どもたちが成長し、思考していくことに大きな危機を感じています。

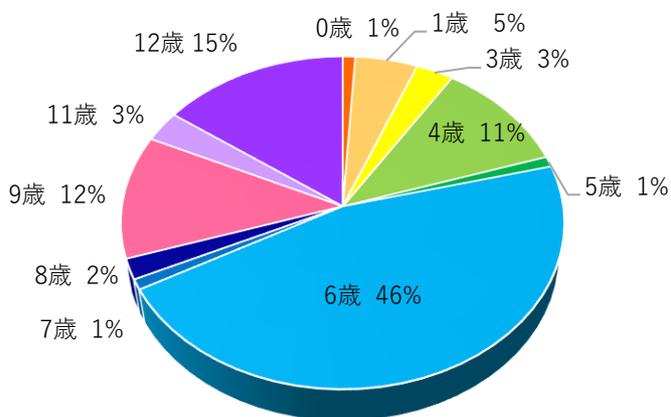


○利用状況

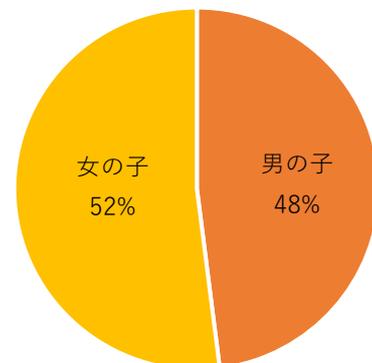
あとりえ・たらちねでは、子どもたちのケアと同じように子育てをする親のケアに力を入れていきます。子どもたちは自分たちのことよりも親のことを優先して考えます。それほど、子どもたちにとって大切な存在である親へのケアは大変重要です。母親などからのお話を聞く機会をできるだけ多く持ち、子どもたちの暮らしの安定につながることを目指しています。2020年度は子どもと親の利用割合が同等となりました。今後も、この形を継続していく予定です。



子どもの年齢別 利用状況



男女利用別 状況



【たらちね健康調査プロジェクト】

たらちねでは、2019年5月から福島原発事故の被曝影響による健康調査を開始しました。双葉郡の中で、帰宅困難地域となっている場所に在住であった人々や、双葉郡で生まれ育った30代の人々の話の聞き取りなどを中心に情報を集めました。しかし、2011年3月11日の福島原発事故災害から10年に満たない期間内の健康被害を特定することは難しく、2020年度は、福島第一原発立地町である大熊町の歴史を探求し、原発がなぜできたのか？など視点を広げ記録していくことを始めました。

2021年7月から「たらちね会」として、大熊町から避難をしている人々に集まっていただき、歴史や地域の風習、原発処理汚染水のタンクの設置場所など様々な話題を取り上げ、対話を実施しました。歴史の話は大熊町の鎌田清衛氏にお願いし、その都度、話題を提供してもらいました。ZOOMによるリモートも利用し、福島県内だけでなく、関東やアメリカなどからも参加する人がいました。毎回10名程度が参加しました。参加者からは、「双葉郡から避難をしてきて、原発以外のことも普通に話せる環境が嬉しい。」という声があります。震災から10年、避難者が避難先の地域にとけ込み、故郷の話ができる場を作ることが難しく、そして大切であることを知りました。「たらちね会」は健康調査プロジェクトから生まれた副産物ともいえると思います。

健康調査については、過去に出版されている本や資料などを調べ、健康被害に関する内容をまとめています。これらのものを発表できる形にすることが今後の課題です。

7月31日	第1回たらちね会
9月4日	第2回たらちね会
10月5日	第3回たらちね会
12月7日	第4回たらちね会
12月8日	第5回たらちね会



○「福島原発事故災害から10年目のアンケート」

10年目の311ということで、他団体と連携し大規模アンケートも実施しました。心身の健康に関する内容が主で、集計がまとまり次第、公開の予定です。全国から1,136名が回答を寄せてくださり、意味のある資料になりました。

【講演会・勉強会】

2020年度の講演会・勉強会は新型コロナウイルスの感染リスクを考慮し、大半がオンライン形式での開催となりました。オンラインで開催することにより、日本各地や海外在住の方も参加して頂くことができ、これまで以上に参加者層の広がりがありました。オンライン参加のツールをお持ちでない方も多数いる中で、測定報告会の資料を紙媒体で送付するなど、幅広い層にできるだけ多くの情報を提供できるように模索しました。

○講演会・勉強会開催一覧

2020年10月1日

放射能汚染からの食と農の再生を

講師：石井秀樹

2020年11月5日

見えないものを見る

講師：平修

2020年12月3日

食と放射能に関する説明会

講師：和田敏裕

2021年1月13日

トリチウムについて&放射能測定装置の取り扱いについて

講師：山田崇裕、福原隆宏

2021年1月23日

内部被ばくの仕組みとトリチウムの危険性

講師：西尾正道

2021年2月20日

たらちね測定報告会&「身近な放射能汚染を考える」今中哲二講演会

講師：今中哲二

2021年3月20日

放射線のこと一緒に勉強しよう!

小豆川勝見、堀まゆみ



【広報活動】

原発事故から10年を迎え、2021年1月～3月にかけて取材依頼を多く頂きました。原発事故関連の主要なニュースは海外でも一部報じられていますが、汚染の実態を含む福島の詳細な状況は伝わっていないことが多く、刻一刻と変化し続ける福島の状況を国内はじめ海外にも広く発信していく重要性を感じました。また、SNSツールはその種類によって主要ユーザーの年齢層が変わるため、幅広い世代に情報を届けられるよう複数のアプリを用いて情報発信を行いました。

○SNS フォロワー数

- ・フェイスブックフォロワー数 14,443人(3月末時点)
- ・インスタグラムフォロワー数 850人(3月末時点)
- ・ツイッターフォロワー数 590人(3月末時点)
- ・たらちねアプリダウンロード数 456名(3月末時点)

○メディア掲載情報・取材依頼

- ・2020年4月 NONUKES PRESS 2020年4月号

- ・2020年4月14日 共同通信 福島支局

- ・2020年12月9日 ドイツの雑誌「Für Sie」

- ・2021年1月12日 第2ドイツテレビ (Zweites Deutsches Fernsehen)

<https://www.zdf.de/dokumentation/zdfzeit/zdfzeit-der-ewige-gau-10-jahre-fukushima-100.html>

- ・2021年1月29日 ブラジル主要新聞 Folha

<https://bit.ly/3rpqv3m>

- ・2021年2月 生活協同組合パルシステム東京の機関紙「わいわい」2月号

- ・2021年2月 現代の理論 2021冬号

- ・2021年2月15日 オーストリア公共放送 ORF

<https://tvthek.orf.at/profile/Weltjournal/1328/WELTjournal-Fukushima-die-endlose-Katastrophe/14084786>

- ・2021年2月16～17日 アメリカ ブルームバーグ

<https://youtu.be/OQUTCZokSXk>

- ・2021年2月18日 生活クラブ生活協同組合 埼玉 (オンライン講演)

- ・2021年3月4日 アルジャジーラ
<https://www.aljazeera.com/news/2021/3/9/fallout-fukushima-10-years-after>
- ・2021年3月5日 韓国 世界日報
- ・2021年3月9日 パルシステム東京 放射能レポート
- ・2021年3月11日 WIRED 日本版
- ・2021年3月15日 ニューヨークタイムズ



第2 ドイツテレビ



ブルームバーグ



生活協同組合パルシステム東京
機関紙「わいわい」



ブラジル主要新聞 Folha

○見学人数 17名

以上、2020年度認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちねの事業報告といたします。